

平成29年度 全国学力・学習状況調査 南富良野町の結果について

I 調査の概要

1 調査の目的

- ・ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象学年

町内小学校第6学年、町内中学校第3学年 原則として全児童生徒

3 調査内容

(1)教科に関する調査（国語、算数・数学）

主として「知識」に関する問題(A)	主として「活用」に関する問題(B)
<p>○身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</p> <p>○実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能</p> <p style="text-align: right;">など</p>	<p>○知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力</p> <p>○様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力</p> <p style="text-align: right;">など</p>

(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
<p>学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査</p> <p>(例)国語の勉強は好きですか、授業の内容はどの程度分かりますか、一日にテレビを見る時間、読書時間、勉強時間の状況</p> <p style="text-align: right;">など</p>	<p>指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査</p> <p>(例)学力向上や学習の定着に向けた取組、習熟度別少人数指導、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況</p> <p style="text-align: right;">など</p>

4 調査の期日 平成29年4月18日（火）

5 調査を実施した学校・児童生徒数（全国悉皆調査）

	実施率	参加児童数	参加生徒数
全国（公立）	99.3%	999,723	982,811
全道（公立）	93.2%	35,802	37,265
南富良野町 全校	100.0%	19	28

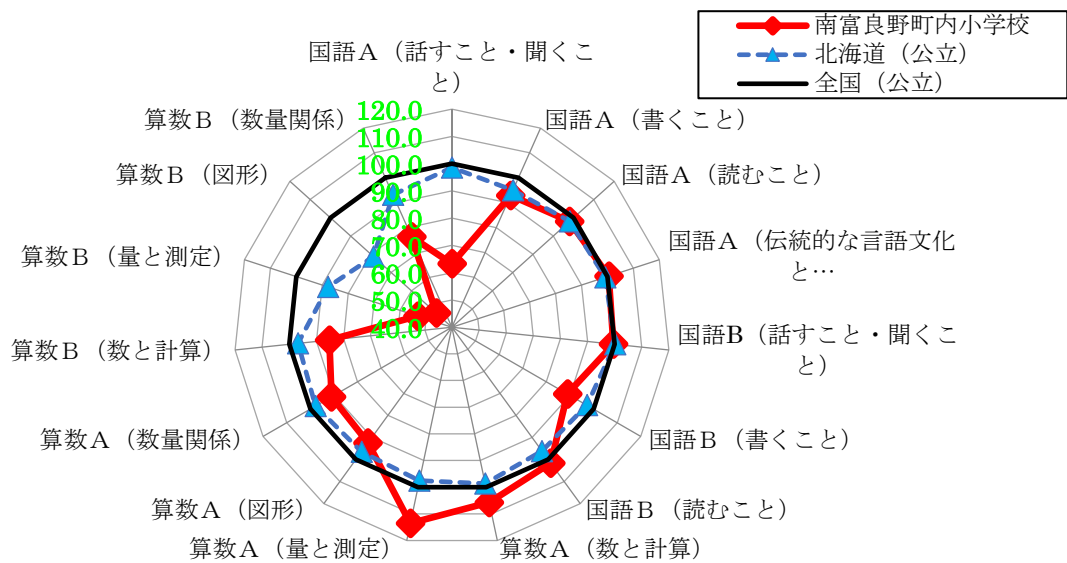
II 調査の結果

※今回の調査で測定できるのは「学力の特定の一部」であり、子どもの学力の全てではないとい
うおさえに立っています。

1 児童生徒の学力の状況について

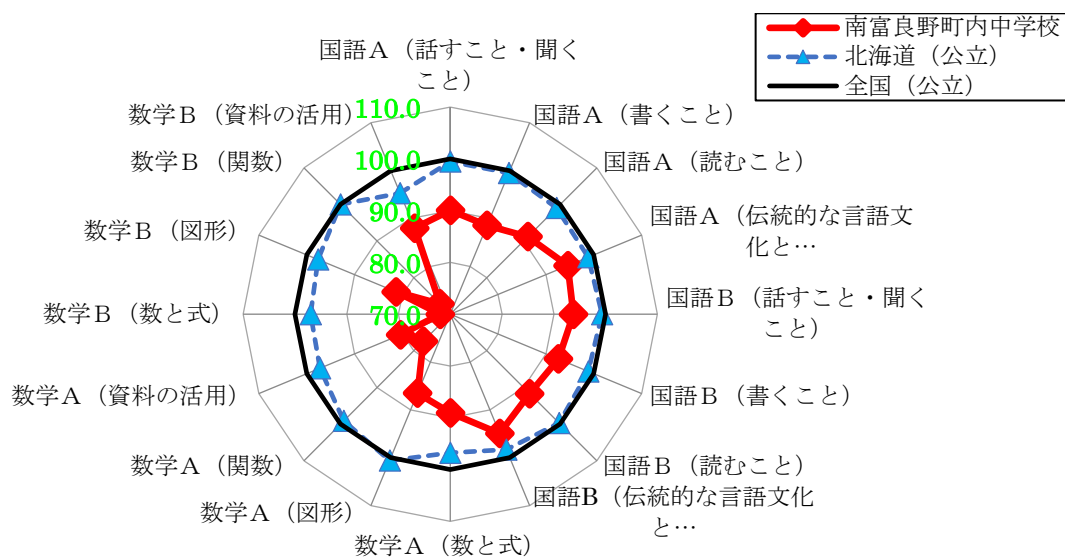
(1)小学校

科 目	全道平均	全国平均	南富良野町
国語A(主として知識)	73.7	74.8	73.3
国語B(主として活用)	56.3	57.5	53.3
算数A(主として知識)	77.3	78.6	80.0
算数B(主として活用)	43.5	45.9	35.5



(2)中学校

科 目	全道平均	全国平均	南富良野町
国語A(主として知識)	76.7	77.4	71.6
国語B(主として活用)	71.7	72.2	66.7
数学A(主として知識)	63.7	64.6	55.0
数学B(主として活用)	46.9	48.1	38.0



小学校は、算数A知識が全国平均正答率を上回っていますが、国語A知識、国語及び算数B活用は全国平均正答率が下回っている。

中学校は、全ての教科で全国平均正答率を下回っている。小学校と同様にB活用がA知識よりも低い傾向が見られる。

2 児童生徒質問用紙の傾向について

※ 共通質問92項目のうち、「生活習慣の基本に関わるもの」「家庭と学校の連携が必要なもの」を抜粋しています。

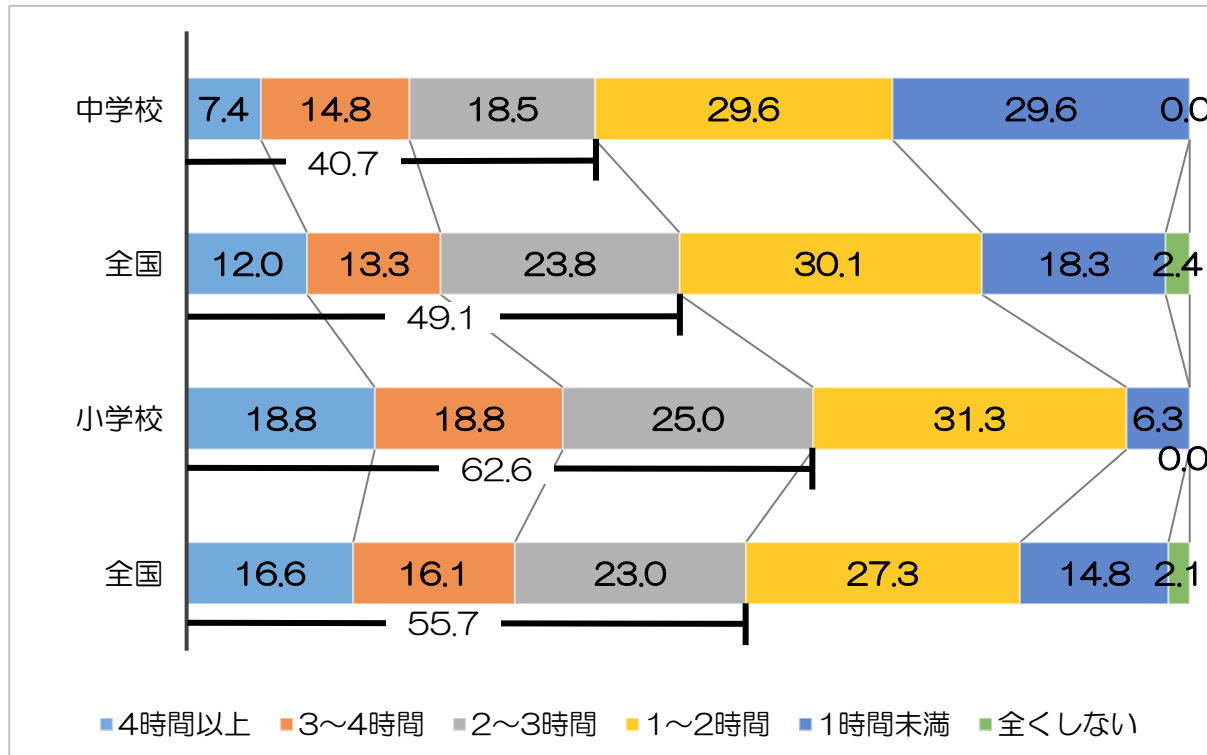
※ 網掛けは、全国平均より高い結果を表しています。

※ 数字は%、「している」「どちらかといえばしている」など肯定的な割合の合計です。

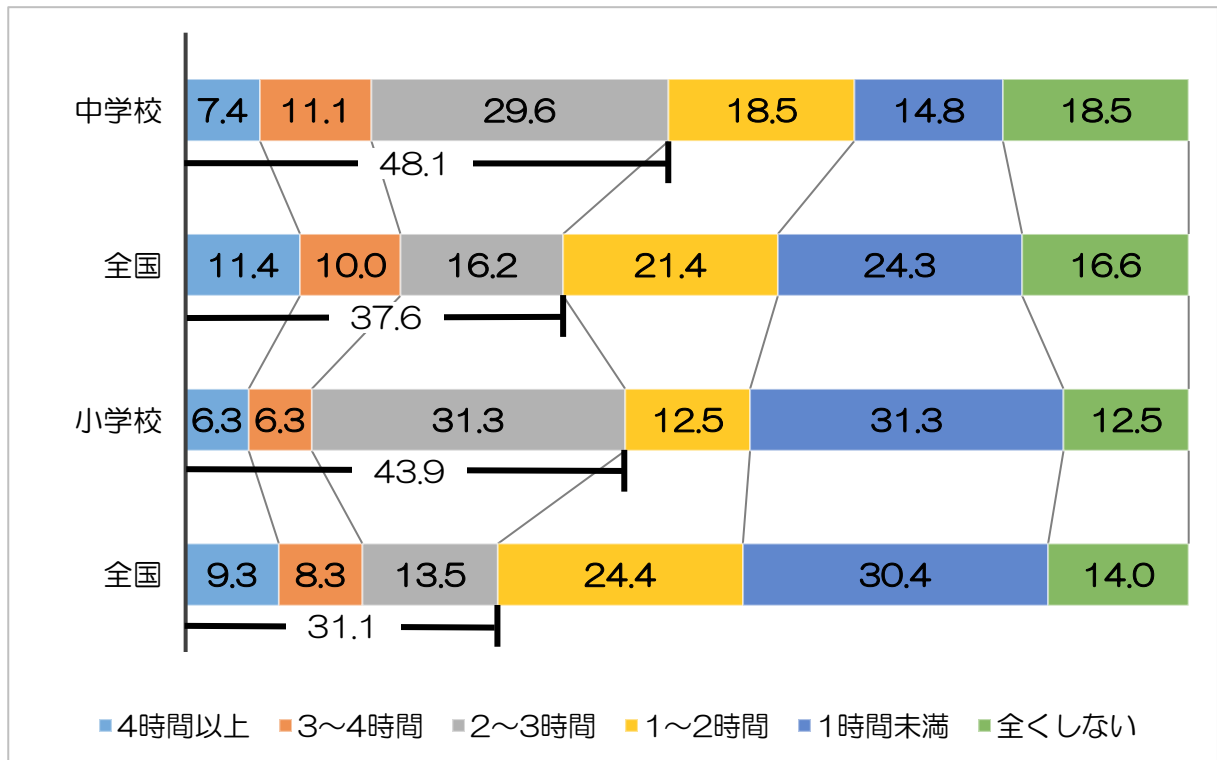
(1)家庭での生活・学習について

質 問 事 項	全 国	小学校	全 国	中学校
朝食を毎日食べている	95.4	93.8	93.2	96.3
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	79.8	81.3	75.6	81.4
毎日、同じくらいの時刻に起きている	91.2	100.0	92.4	96.3
家の人に学校の出来事を話す	78.1	81.3	74.3	74.0
家で、計画を立てて勉強している	64.5	62.6	51.5	51.8
家で、宿題をしている	96.9	100.0	89.5	96.3
家で、予習をしている	41.0	62.6	31.7	29.6
家で、復習をしている	53.8	87.5	50.5	55.5

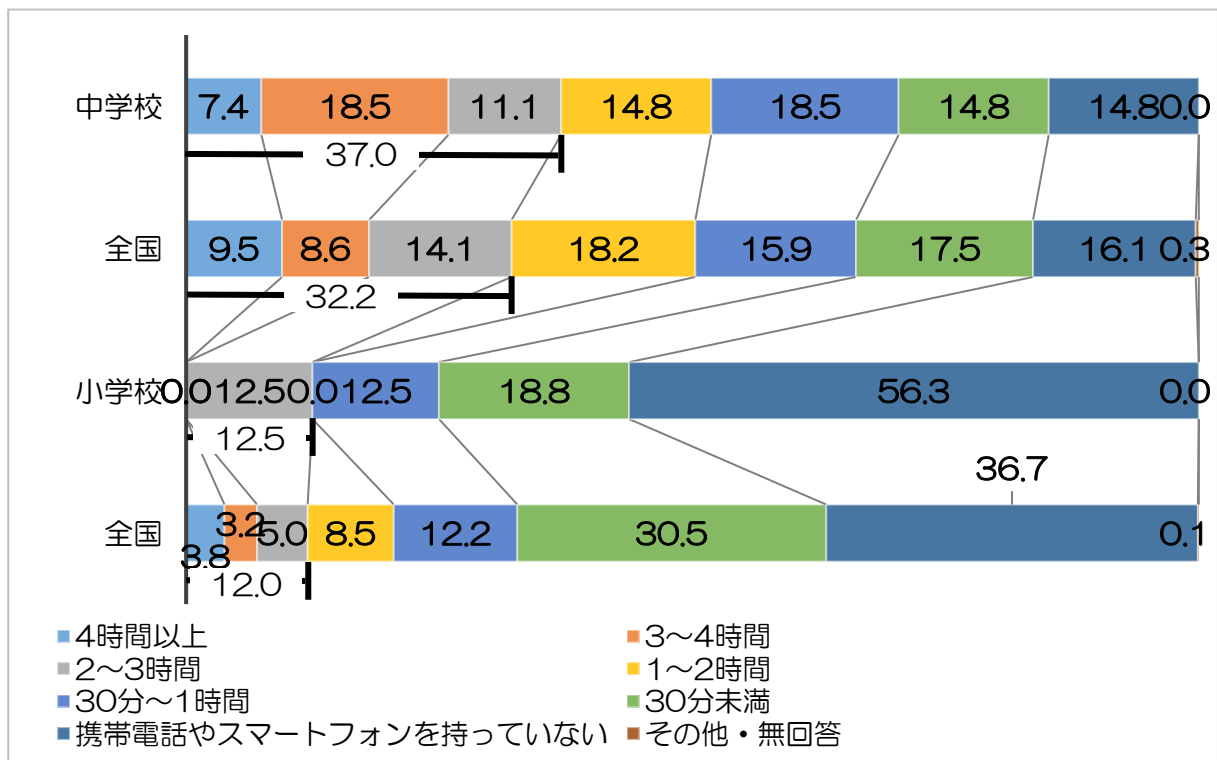
○平日、1日あたりどれくらいの時間、TVやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか？



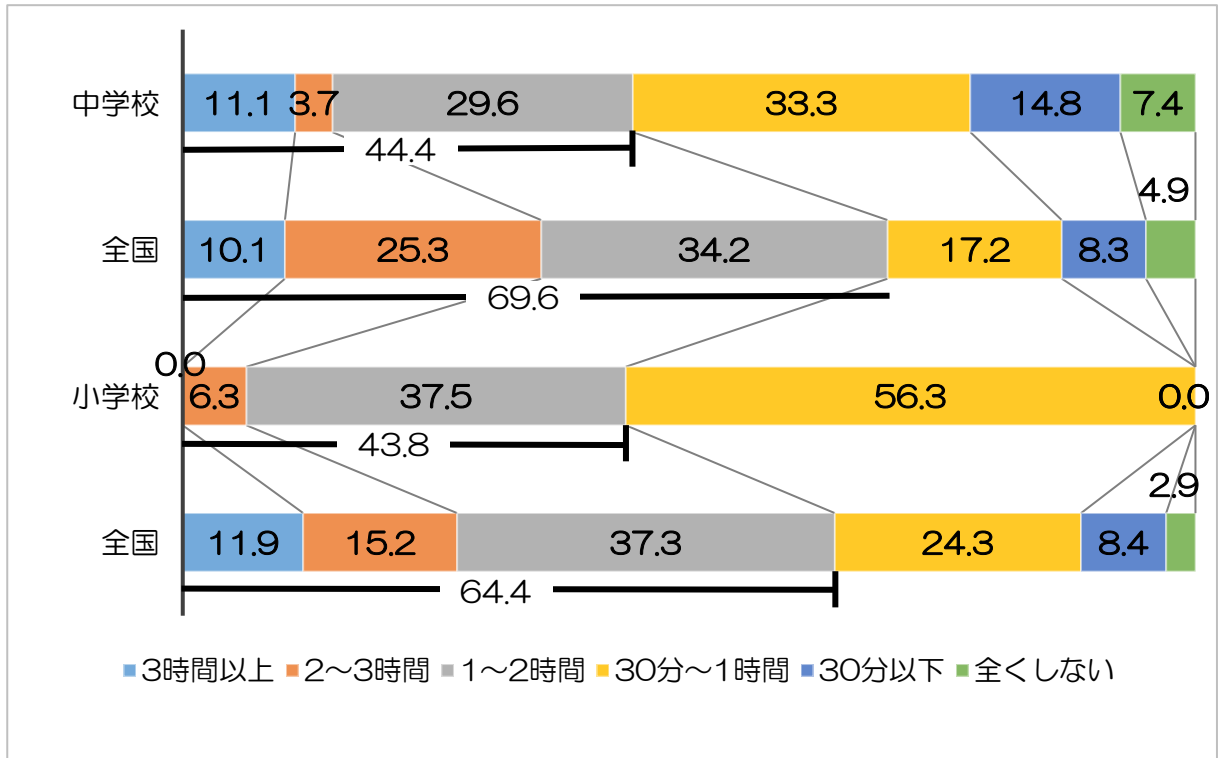
○平日、1日あたりどれくらいの時間、TVゲーム（コンピュータ・携帯式ゲーム、携帯電話やスマートフォンを含む）をしますか？



○平日、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで電話やメール、インターネットをしますか？



○平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか？（学校の授業以外で学習塾や家庭教師に教わっている時間も含む）



家庭での生活・学習について、小学校・中学校ともに基本的な生活や家庭での学習習慣が身につけている。テレビ・ビデオ等の視聴やTVゲーム等に費やす時間は全国平均に近いが、家庭学習の時間は、中学校では全くしない生徒の割合が高く、取り組んでいる時間も少ない傾向にある。

(2)学校での生活・学習について

質問事項	全国	小学校	全国	中学校
学校に行くのは楽しい	86.3	81.3	80.9	70.3
学校のきまりを守っている	92.6	93.8	95.2	88.8
国語の勉強は好き	60.5	31.3	60.5	55.5
国語の授業の内容はよく分かる	82.2	62.6	74.9	74.1
算数・数学の勉強は好き	65.9	62.5	55.4	40.7
算数・数学の内容はよく分かる	80.6	75.1	69.4	59.2

学校での生活・学習について、ほとんどが全国平均より低い結果となっていますが、「学校のきまりを守っている。」で、小学校は全国平均よりも高い結果となっている。学習では、「国語の勉強が好き」「算数・数学の勉強が好き」が小学校、中学校ともに全国平均より低い結果となっています。

(3)関心・意欲・態度等について

質問事項	全国	小学校	全国	中学校
最後までやり遂げうれしかったことがある	94.8	100.0	94.7	81.4
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している	77.4	93.8	71.0	55.5
自分には、よいところがあると思う	77.9	75.1	70.7	59.2
地域や社会で起きている問題や出来事に関心がある	63.9	25.0	59.2	62.9
テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか	84.6	75.1	86.7	85.2
いじめはよくないと思う	96.1	100.0	92.8	92.6
人の役に立つ人になりたい	92.5	87.6	91.9	88.9
将来の夢や目標を持っている	85.9	81.3	70.5	66.6

小学校では、「最後までやり遂げうれしかったことがある」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」「いじめはよくないと思う」が全国平均よりも高い傾向である。

中学校では、全体的に全国平均よりも低い傾向となっているが、「地域や社会で起きている問題や出来事に関心がある」については、全国平均よりも高くなっている。

(4)読書について

質 問 事 項	全国	小学校	全国	中学校
読書は好きだ	74.3	43.8	69.9	70.3

○学校の授業時間以外に、平日、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか？

	2時間以上	1時間～2時間	30分～1時間	10分～30分	10分以下	全くしない
全 国	6.9	9.9	19.7	26.8	16.1	20.5
小学校	6.3	6.3	12.5	6.3	12.5	56.3
全 国	5.7	8.3	15.2	22.2	12.8	35.6
中学校	7.4	29.6	7.4	22.2	14.8	18.5

中学校では「読書が好き」で、全国平均より高い傾向にあり、1時間以上読書する生徒も全国平均よりも高い傾向にある一方、「10分以下」「全くしない」生徒が、3分の1となっている。

しかし、小学校では「読書が好き」で全国平均より低く、読書時間においても「10分以下」「全くしない」の児童が3分の2を超えている。

(5)児童生徒の無回答率の状況について

小学校	全道	全国	町	中学校	全道	全国	町
国語A	2.8	2.8	1.3	国語A	1.4	2.4	2.1
国語B	4.9	4.3	1.4	国語B	4.5	3.8	5.6
算数A	1.7	1.6	2.9	数学A	2.6	2.4	2.2
算数B	7.6	6.4	4.6	数学B	13.2	11.7	15.3

【小学校・中学校共通】

無回答率について、小学校は国語A、B、算数Bにおいて、全国平均及び全道平均よりも無回答率が低い、算数Aについては全国平均及び全道平均よりやや高い割合となっている。

中学校は、数学Aでは、全国平均及び全道平均より無回答率が低く、国語Aでは全国平均より低いが、全道平均よりは高い。国語B、数学Bにおいては、全国平均及び全道平均よりも高い。

Ⅲ 課題と今後の取組

- 1 小学校・中学校ともに、B活用がA知識より平均正答率が低い傾向がある。
- 2 小学校・中学校ともに、TV・ビデオ等の視聴や、TVゲーム等に費やす時間は全国平均と比較しても多い傾向がある。
- 3 家庭での学習時間は、小学校・中学校ともに取り組み時間が少ない傾向にある。
- 4 小学校・中学校ともに、基本的な生活習慣や道徳的な考え方、読書などよい傾向が見られている。
今後も、家庭学習や読書の習慣づけ、基本的な生活習慣の継続をさせていくため、小中高連携教育を推進していくとともに家庭・地域との連携、啓発の取組が必要である。

Ⅳ 家庭へのお願い

- 1 お子さんが望ましい生活習慣や学習習慣を身につけるため、積極的にお子さんとかかわりましょう。
- 2 テレビやビデオ、DVDの視聴やテレビゲーム、インターネット等に費やす時間については、各家庭でお子さんと話し合い、少しずつ減らしていきましょう。
- 3 家庭学習は、学年×10分+10分取り組ませましょう。
学校での授業内容を定着させるには、学年×10分+10分の家庭学習が必要です。勉強する時間を決めて取り組むことのできる環境を親子で一緒につくりましょう。
(中学1年生は80分、中学2年生は90分、中学3年生は100分になります。)